

## 対 策 計 画 書

届出者	住所	堺市堺区市之町東5丁2-7	氏名	株式会社セルビス 代表取締役 坂元正幸
特定事業者の主たる業種		79その他の生活関連サービス業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		冠婚葬祭業、介護事業、旅館業		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2018 年	4 月	1 日	～ 2022 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		3,535 t-CO <sub>2</sub>	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		3,850 t-CO <sub>2</sub>	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		3,429 t-CO <sub>2</sub>	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		3,735 t-CO <sub>2</sub>	
選択	レ	目標削減率 (排出量ベース)	3.0 %
		目標削減率 (原単位ベース)	%
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.0 %
目標削減率に関する考え方			
<p>LED照明への更新、太陽光パネルの設置、緑化、省エネ設備やエコカーの導入は実施済みまたは順次導入中であり、本計画期間中には、ガスコージェネレーションシステムの導入などによるピークカットなどの排出量削減を計画しています。</p>			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量			
目標年度における吸収量	t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

<p>総務部を含む管理部門が中心となって節電・エコドライブを全社に周知徹底しています。省エネに対する意識を各部門が共有し、設備入替などによってハード面からも省エネを推進していきます。前年対比での温室効果ガス排出量削減を毎年達成することを目標に活動を継続中です。</p>
--

## 対 策 計 画 書

届出者	住所	岸和田市臨海町20-1	氏名	株式会社 センシユー 代表取締役 大嶋實
特定事業者の主たる業種		31輸送用機械器具製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		ダクタイル鋳鉄鋳物の製品		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2019 年	4 月	1 日	～ 2022 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		18,310 t-CO <sub>2</sub>	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		21,488 t-CO <sub>2</sub>	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		16,400 t-CO <sub>2</sub>	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		19,330 t-CO <sub>2</sub>	
選択		目標削減率 (排出量ベース)	%
	レ	目標削減率 (原単位ベース)	3.4 %
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.0 %
目標削減率に関する考え方			
稼働率を上げて、不良率を下げ、操業時間の短縮する事で、電気、ガスの使用量を低減する			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量			
目標年度における吸収量	t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (生産重量)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

IS014001認証取得 主管部署で目標管理し、安全環境会議でフォローしている
---

# 対 策 計 画 書

届出者	住所	泉南市樽井 1-1-1	氏名	泉南市長 竹中 勇人
特定事業者の主たる業種		98地方公務		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		本市（総人口 61788人 令和元年7月末現在。）地域内の、小中学校、図書館、福祉施設等各種施設の設置管理、道路、公園、上下水道、し尿処理等の生活環境の整備等、地方自治法に基づいて、住民の日常生活に直接関係する事務を包括的に処理する。		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2019 年	4 月	1 日	～ 2022 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		4,992 t-CO <sub>2</sub>	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		5,648 t-CO <sub>2</sub>	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		5,245 t-CO <sub>2</sub>	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		5,882 t-CO <sub>2</sub>	
選択	レ	目標削減率 (排出量ベース)	-5.1 %
		目標削減率 (原単位ベース)	%
		目標削減率 (平準化補正ベース)	-4.2 %
目標削減率に関する考え方			
本市においては本計画書に基づき、目標年度である2021年度において、温室効果ガスを3%(排出量ベース)削減する目標を掲げます。			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量			
目標年度における吸収量	t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

市で今年度をめどに「地球温暖化対策実行計画」(事務事業編)を作成予定。また現在は総務課・環境整備課で連携して、省エネの取組を進めている
---

## 対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪府堺市中区土塔町 1 9 9 1 番地	氏名	泉南乳業 株式会社 代表取締役社長 吉田 茂夫
特定事業者の主たる業種		10飲料・たばこ・飼料製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第 3 条第 1 号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第 3 条第 2 号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第 3 条第 3 号イ又はロに該当する者	
事業の概要		牛乳、清涼飲料の製造及び販売		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間	
2019 年	2022 年
4 月	3 月
1 日～	31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)	4, 418 t-CO <sub>2</sub>
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))	4, 375 t-CO <sub>2</sub>

選択		目標削減率 (排出量ベース)	%
	レ	目標削減率 (原単位ベース)	5.0 %
		目標削減率 (平準化補正ベース)	5.0 %

目標削減率に関する考え方

前回 2016 年 4 月から 2019 年の 4 月までの 3 年計画においては、目標の 3%削減を超える 7.8% (原単位ベース削減率) の温室効果ガス削減を達成できました。今回の 3 年計画においても今後省エネにつながる設備投資の予定もあり、5%の温室効果ガス排出量 (原単位ベース削減率) の削減を目標に設定します。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率	%
-------------	-------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (生産量)

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

環境 ISO14001を平成18年度に認証取得し、その環境方針の中で省エネルギーを謳っており、これに基づいて省エネ活動及び地球温暖化防止活動を実施していきます。また大阪府立大学教授と共同で省エネルギー対策会議を実施しており、それにおいても省エネ及び地球温暖化防止活動に努めています。

## 対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪府高石市取石6丁目9番40号	氏名	泉北環境整備施設組合 管理者 阪口 伸六
特定事業者の主たる業種		98地方公務		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		泉大津市、和泉市及び高石市で構成する一部事務組合で、一般廃棄物処理施設（ごみ・し尿）を運営しており、府内に2事業所がある。		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2019 年	4 月	1 日	～ 2022 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		50,916 t-CO <sub>2</sub>	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		51,066 t-CO <sub>2</sub>	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		49,389 t-CO <sub>2</sub>	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		49,535 t-CO <sub>2</sub>	
選択	レ	目標削減率 (排出量ベース)	3.0 %
		目標削減率 (原単位ベース)	%
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.0 %
目標削減率に関する考え方			
<p>本組合における温室効果ガス排出量は、焼却ごみの量や質により大きく変動するものではあるものの、燃料使用量の削減等、更なる施設のエネルギー管理を徹底することにより、3%の削減目標を掲げるものであります。</p>			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量			
目標年度における吸収量	t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

<p>現在、本組合では、管理者を実行計画推進総括者とし、事務局幹部会、地球温暖化対策実行計画推進会議及び実行推進ワーキンググループを設置して全庁的な温暖化対策について協議しています。地球温暖化対策実行計画推進会議では、定期的に、計画の策定及び計画に基づく事業の実施、点検等を行っており、今後も本体制を継続していきます。</p>
---

## 対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪府和泉市いぶき野 5-1-1	氏名	泉北高速鉄道株式会社 代表取締役社長 福田 順太郎
特定事業者の主たる業種		42鉄道業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		<p>当社は鉄道事業として、昭和46年4月に開業した泉北高速鉄道（中百舌鳥駅～和泉中央駅間）を運営している。</p> <p>また、物流事業として、全国各地から大型トラックや鉄道に運ばれた貨物を、都心部へ効率的に運ぶ広域物流拠点である東大阪（東大阪市）・北大阪（茨木市）流通センターを運営している。</p>		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2019 年	4 月	1 日	～ 2022 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		3,988 t-CO <sub>2</sub>	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		4,695 t-CO <sub>2</sub>	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		3,870 t-CO <sub>2</sub>	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		4,556 t-CO <sub>2</sub>	
選択		目標削減率 (排出量ベース)	%
	レ	目標削減率 (原単位ベース)	3.0 %
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.0 %
目標削減率に関する考え方			
<p>当社は、省エネに関する取組み方針に基づき、エネルギー消費原単位を中長期的に年1パーセント削減することを目標としています。本対策計画においては、この取組み方針に沿って3年で3パーセントの削減を目標に設定しました。</p>			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量			
目標年度における吸収量	t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 使用床面積 )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

<ul style="list-style-type: none"> <li>・温暖化対策を含む環境に配慮した経営の推進のため、ISO14001を認証取得し、環境マネジメントシステムを運営しています。</li> <li>・常勤役員会で、年2回以上、環境への取り組みに対する進捗状況を報告し、現状改善などを検討するとともに、環境担当者に対する会議、研修を適宜実施し、本体制を継続していきます。</li> </ul>
--

## 対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪市中央区平野町4-1-2	氏名	泉北天然ガス発電株式会社 代表取締役社長 後藤 暢茂
特定事業者の主たる業種		33電気業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		大阪府内に設置している泉北天然ガス発電所（合計出力：110万9kW）における発電等		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2019 年	4 月	1 日	～ 2022 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		91,760 t-CO <sub>2</sub>	
基準年度における温室効果ガス総排出量（平準化補正後）		91,821 t-CO <sub>2</sub>	
(3) 温室効果ガスの削減目標（目標年度の対策後排出量）		91,000 t-CO <sub>2</sub>	
温室効果ガスの削減目標（目標年度の対策後排出量（平準化補正後））		91,100 t-CO <sub>2</sub>	
選択		目標削減率（排出量ベース）	%
	レ	目標削減率（原単位ベース）	0.1 %
		目標削減率（平準化補正ベース）	0.1 %

目標削減率に関する考え方

当社の火力発電所では、環境マネジメントシステムに基づく環境負荷改善活動などを通じて、原単位ベースでの温室効果ガスの削減に努めています。2009年に営業運転を開始して以降、効率的な運転が行えるよう、これまで継続的に改善を重ねて参りましたが、現状、更なる削減は困難な状況となっております。加えて、設備の経年変化が進行する中、従来の原単位を維持する事も難しい状況ではありますが、原単位が増加しないように努めてまいります。

（参考）本事業は、環境影響評価法、大阪府環境影響評価条例の適用を受けており、事業開始時点で、高効率のガスタービンコンバインドサイクル方式発電設備の採用、燃料として単位発電量当たりの二酸化炭素排出量が少ない液化天然ガス（LNG）の採用を通じて、削減対策を施しています。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率	%
-------------	-------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容（目標削減率（原単位ベース）を選択した場合のみ記入）

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値（送電電力量）

（温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法）

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

- ① エネルギー管理統括者、エネルギー管理者等の選任をはじめとする「エネルギー使用の合理化等に関する法律」に基づくエネルギー管理推進体制の整備
- ② 環境マネジメントシステムに基づく環境負荷改善活動推進体制の整備
- ③ 温暖化対策に関する定期的な教育の実施